

■ 平成 27 年 4 月 11 日(土) 定例観察会「タンポポを探そう！ー私の春の七草」

場所／大阪城公園 天候／曇り

参加者／大人 14 名

スタッフ／11 名

観察内容／

前日は雨で、当日も曇りがちの天候でしたが、
カンサイタンポポも花を開いており、3種類の
タンポポが観察できました。

まずは、音楽堂周辺で外来種タンポポとよく似たオニタビラコやハルノノゲシを観察。また、シロツメクサやコメツブツメクサ、オランダミミナグサなどの春の草花も観察しました。さらに、カタバミの葉で 10 円硬貨を磨いたり、キュウリグサを揉んでその匂いも嗅いだりしました。クスノキの落葉が沢山落ちており、なぜ春なのに落葉なのかを考えてもらいました。また、ヤエムグラの葉の数が 6 枚から 9 枚と一定していないことも観察してもらいました。次に、公園管理事務所協へ。一昨年までイヌノフグリが見られたの



ですが、今年も見つけることはできませんでした。ここでは絶滅したのかもしれませんが。鳥見の小径では、シロバナタンポポの観察。綿毛をつけたものもあり、瘦果の大きさを感じてもらいました。階段の手すりにドロバチの巣がありました。人目につかず、雨も避けられる場所に作っており、昆虫の本能のすごさを感じます。階段を上った公園では、アキニレの樹皮のパズルをしました。スタッフが事前に樹皮を剥がしておいて、参加者に元あったところほど

こかを探してもらいました。同時にどうして簡単に剥がれるのかも考えてもらいました。ここにはカンサイタンポポが多数咲いており、外来種との違いを観察しました。最後に、ピース大阪の「にのいの森」に移動。春の七草にちなんで、草花を 7 種類集めて台紙に貼り付けてもらいました。ハコベ、ハハコグサ、キュウリグサ、ヒメオドリコソウ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、カスマグサ、スズメノヤリなどを見つけて思い思いの「私の春の七草」を完成させました。

